

塩水噴霧試験機・キヤス試験機

*佐藤秀俊

視認性を高めメンテナンス性を改良し、更に使いやすくなりました。



STP-90V-4型
CAP-90V-4型

塩水噴霧試験機とキヤス試験機は、金属材料やめっきなどの表面処理の耐食性評価の基本的な試験ができる装置として広く使用されています。

各部の視認性を高め、さらなる使いやすさを追求し、この度モデルチェンジしましたのでご紹介します。

■特長

1. 噴霧均一性を追求、ISO噴霧塔方式

試験槽内全域の均一な試験結果のために、噴霧分布の均一性を実現したISO推奨の噴霧塔方式を採用。噴霧粒子の均一性も優れています。



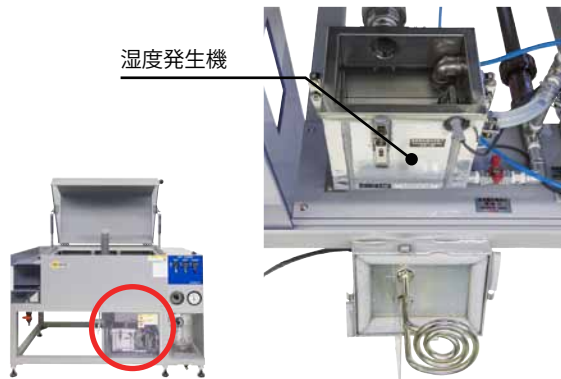
2. pHの変動を防ぐ空気遮断ボード (PAT.)

繰り返し再現性の良い塩水噴霧試験を行うためには、噴霧液のpHを規格の規定値内に管理することが重要です。溶液タンクに空気遮断ボードを設け、溶液と空気の接触を遮断。大気中の酸性物質の溶け込みを防ぎ、pHの変動を抑止しています。

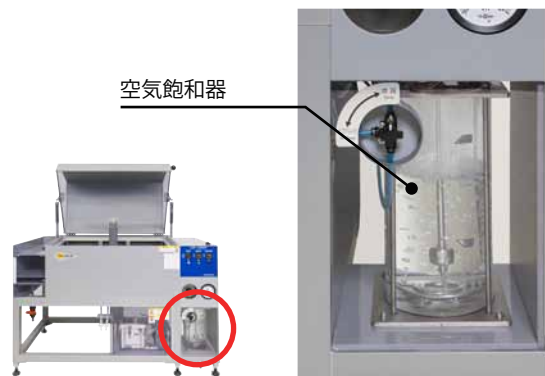


3. 湿度発生機前面の開口部を大きくしその場で湿度発生機の清掃が出来るように改良しました。

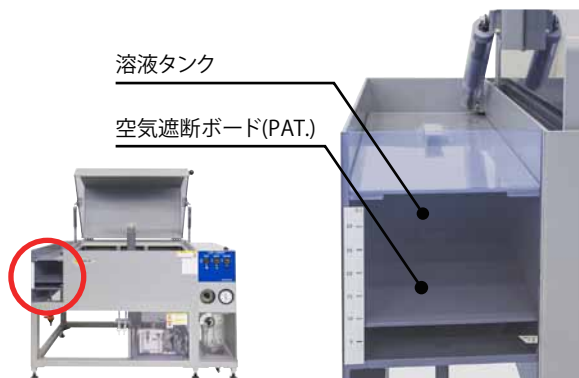
従来の清掃方法は蒸気管を外し、湿度発生機を前面に引き出すスライド方式でしたが、今回その作業を不要にしました。



4. 空気飽和器筒部を透明化し、発泡状態など一目で内部の状態が確認できるようにしました。



5. 溶液タンクおよび空気飽和器の前面部を大きく透明化し、残量が正面から一目でわかるようにしました。



6. 噴霧圧力計の位置を見直し、校正時の取り外し、取り付けを容易にしました。

7. 工場エア使用の高い圧力の場合でもエア受給が出来るようにエアフィルタ、ミストセパレータ内蔵の減圧装置を標準装備しました。

■さらに機能アップを考えて豊富なオプションを用意しています。

1. 溶液作製タンク：容量約30L
(空気遮断ボード(PAT.)付)
2. 水フィルタ(SW-5G型)
3. 自動溶液補給装置(SS-2型)
4. 排気処理装置(EF-1R型)
5. 排気・排液回収処理装置(HH-1N型)
6. 噴霧溶液採取量自動測定機構
7. 空気飽和器自動給水機構
8. 特殊試料枠
 - 1) JIS K 2246 (さび止め油) の規定試験片
(80×60mm) 用
 - 2) 試験片保持角30°(試験片枚数36枚)
(ASTM B 117対応)
 - 3) 試料枠耐荷重50kg仕様
9. 床耐荷重
 - 10kg仕様、50kg仕様
10. 試験条件の変更
 - 1) 噴霧・噴霧停止の設定機能
 - 2) 運転時間設定機能
11. 減圧装置オートドレン
12. エアコンプレッサオートドレン
13. 試験槽洗浄用ホース

詳しくは当社営業部までお問合せ下さい。

■仕様

型式	STP-90V-4	CAP-90V-4
試験温度	35±1℃	50±1℃
噴霧溶液	5%中性塩水	キャス液
試験槽内寸法	約幅90×奥行60×高さ40cm	
試験片枚数	48枚(試験片寸法150×70×1mm)	
試験片取付角度	垂直に対して15°又は20°	
本体寸法	約幅158×奥行74×高さ114cm	
運転質量	約140kg	
付属品	エアコンプレッサ 0.2kW	
規格	ISO 9227、JIS Z 2371、JIS H 8502、 ASTM B117(オプション対応) 他	

*日高・川越工場 製造部 塩水・複合課 課長代理